

BRIDGE KIDS PROGRAMS 2024

5 月度 実行委員会 議事録

● APCC ビジョン ●

わたしたち APCC メンバーは、
OMOIYARI の心をもった地球市民となり
こどもたちの笑顔あふれる世界を実現します。

日時：2024年5月24日（金）19:00～20:30

場所：ふくふくプラザ 5 階 502 会議室

議長：児玉副実行委員長

総括：森戸副実行委員長

1. 開会
2. ビジョンの唱和
3. 議事録作成人の指名
4. 議事次第ならびに配布資料の確認
5. 出席者確認
6. 実行委員長 挨拶

<本日の資料>



<BKP2024 カレンダー>



山下：いよいよ5月になり、あと2ヶ月ほどで子ども達がやってくる。本日は、福岡青年会議所から2名、オブザーブとして参加している。ほとんどの方がご存知だと思うが、このAPCCは、福岡青年会議所が始めた事業で、平成元年によかトピアの際に1,000人の子ども達を招聘したところから始まった。それが引き継がれ、現在の我々の事業に繋がっている。

本日、オブザーブで参加している2人は、今回の招聘期間中、我々と一緒に、福岡の中学生に国際交流のきっかけを与えるイベントを企画している。

私たちの多くのメンバーも青年会議所だが、APCCには、青年会議所のOBのちからは必ず必要なものだと思う。今回は、私たちが青年会議所のことを知る、そして現役のメンバーがAPCCのことを知る良いきっかけになればと思っているため、ぜひ皆さんには何らかの形で協力していただきたい。

また、いよいよ7月が近くなると皆さん忙しくなると思う。特にここにいる皆さんは部会長、副部会長と呼ばれる、部会の中ではリーダー的な存在。部会の中で、一般のボランティアさんとの関係が上手くいかなかったり、コミュニケーションが上手く取れなかったりすることもあるかと思う。そういった際には、「伝わらなければ意味がない」ということを注意して心に留めてほしい。対人関係はすべてそうだが、自分のやりたいことや感情をぶつけることも大事だが、相手にどういった意図があるのかを伝えられない限り、物事は上手くいかないと思っている。そういったときに、ここにいる皆さんには、一般のボランティアさんに対して伝え方を考え、どのような伝え方が一番伝わるのか、今一度考えていただきたい。

6月から7月にかけて、かなり皆さん忙しくなると思うが、そういったことを心に留め、活動していただけたらと思う。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

7. 協議事項

(1) 【スクールビジット部会】 スクールビジット②

浅利：（議案読み上げ）

熊手：（議案読み上げ）

（質問）

森田：他部会との連携部分に、オリエンテーション時のシャペロンミーティングの際には、通訳の手配をすると記載があるが、これはいつ頃必要かどうかわかるのか？ また、シャペロンが集合時間に来なかった場合には、オリエンテーション

部会とどのような連携をするのか？

浅利：通訳については、運営メンバー以外は希望制としており、まだスクビジボランティアには希望を取っていない。現時点では人数は分からないが、今質問をいただいたので、いつ頃お願いするのか、後ほど調整させてほしい。シャペロンが集合時間に来なかった場合は想定していなかったため、助言いただきたい。

脇坂：シャペロンが遅れて来た場合には、ヘッドオフィスにシャペロンを探しに行く人員を配置しているため、10分前にシャペロンが来なかった場合には、担当部会からヘッドオフィスのほうに声をかけてもらいたい。

浅利：なるべく時間に余裕を持って適宜相談させていただきたい。

浅利：今年度初めての部会長担当ということもあり、先月、たくさんのご意見、ご質問をいただいたことで、議案の精度も上がってきたと思う。議案の上程は今回で終わるが、事業まではまだ時間があるため、事業本番までに疑問や気になる点があればいつでもお声掛けいただきたい。よろしく願いいたします。

(2)【イベント部会】 We are the BRIDGE フェスティバル 2024②

田中：（議案読み上げ）

岡本：（議案読み上げ）

（質問）

森田：ボランティアから、子ども達にお土産を渡すのは良いか？

田中：ダイマニュ上程までに検討します。

大上：子ども達の交流ブースをホストファミリーに案内する際、黄色 T シャツの着用を勧めたほうが良いか？

田中：ぜひ案内していただきたい。

森田：T シャツの着用を勧める場合、ホストファミリー部会はリーダー会(6月16日)にて案内をし、ボランティアプロモーション部会も T シャツの販売に力を入れたいため、早めにお知らせをいただきたい。

加治屋：会場内で、グッズを持って会場内を回っても良いか？

田中：エリア内のみにしていただきたい。

田中：イベント部会には4年ほど携わっている。昨年は、森戸副実行委員長のもとでイベント部会をやってきたが、今年度は昨年と同じクオリティ、もしくはそれを越えるもので、子ども達の笑顔に繋げ、そして福岡の一般市民の皆さまにも APCC を宣伝していきたい。引き続きよろしく願いいたします。

8. 依頼・報告・確認事項

(1)【PAプログラム部会】

・PAプログラム期間中内容について

大西：(PA プログラムスケジュール内容読み上げ)

【昨年との違い・伝えておきたい点】

・昨年は BC プレジデントの招聘だったが、今年はピース大使を招聘

・7/14(日)マリンハウス滞在時から簡単な PA プログラムを開始

・今年からピース大使、BCIO メンバーのホームステイプログラムも再開

・7/18(木)ピース大使らとの BBQ 交流会を実施

→参加対象が BCJ メンバーと実行委員会メンバーでピース大使を知るきっかけにもなるので、ぜひご参加してほしい。申込は、添付チラシの QR コードから可能。

・7/19(金)パフォーマンスイベント時の交流ブースサポートを行う

（質問）

浅利：スケジュールに朝のズンバタイムとあるが、何をするのか。

大西：BCIO メンバーが企画しており、恐らくみんな朝の体操にズンバを踊るのではないと思う。

浅利：BBQ 交流会の無料送迎バススケジュールを教えてください。

大西：P33 の送迎バス運行表に記載している。また、申込の Google フォーム上にも記載あり。

・福岡JC 連携事業について

本間：事業自体は2日間を予定している。1日目は7/14(日)、福岡市の中学生42名と留学生21名が座学にてピース大使やピース大使の国・地域について学び意欲を高める目的。2日目の7/15(月・祝)、志賀島にてアドベンチャー形式でピース大使らと一緒にゴールを目指しながら交流を行う。

・当日の流れ

志賀島でチーム行動（1チーム構成：中学生2名、PA1名、留学生1名、引率の福岡JC1名）

3つのエリアに分かれる（各エリア、7チームずつ）

中学生には日本語の地図を渡し、PA達に簡単な英語やジェスチャーで説明してもらう

各3つの地点でクイズに答えてもらい、最終目的に関するカードを集める（最長1時間半）

（実際に福岡JCメンバーで安全面含め、現地調査済）

3つのカードを集め終えたらバスで昼食会場（まさごや）へ移動

昼食は、ハラル対応のカレーライス。数人対応できない人→個別で20食ほど弁当手配

昼食後、4地点目の沖津宮に向かう。陸から少し離れているので手作りのペットボトル筏で移動。

中学生1名とPA1名の2名で乗ってもらい、福岡JC2名が両サイドをサポート（水位は60～70cmくらい）

沖津宮で4枚目のカードを揃え、全てのカードを並べると志賀海神社が浮かび上がってくる

志賀海神社へバス移動し、宝箱を探す。中にはキーホルダーが入っており、事業の思い出として持って帰ってもらう。

終わり次第、PA達はマリンハウスへバス送迎。中学生達はBBQをしながら、2日間を発表などとして振り返る。

（質問）

森戸：沖津宮は、女人禁制ではないのか。

本間：今回の事業に関しては、志賀海さんの方にもヒアリングしながら計画しているので大丈夫である。

- ・暑さ、医療対策：引率の福岡JCが冷たい水、アイスクーラーを持っている。また、緊急対応できるよう車で巡回する。まさごやの2、3階を救護室として借りており、看護師も常駐している。また、JC側で保険加入もしている。
- ・雨天対策：雨天時は、マリンワールドで事業開催。入場料などは、JC側で負担する。マリンワールドの方にも事前に話をし、カードを設置させてもらう許可はもらっている。昼食は晴天時と同じくまさごやで。その後、ビジターセンターへ移動し伝言ゲームなどで交流を図る。

(2)【ウェルカム部会】

・空港業務とルールについて

児玉：（資料読み上げ）

山下：各部会長の皆さま、お見送りに行く際にはご自身の部会のボランティアさんに、事前のルール周知をお願いしたい。例年、一部のルールを守らないボランティアさんが原因で、嫌な気持ちになってしまう方がいらっしゃる。お土産に関する新しいルールもできているため、事前の周知をしっかりと行い、みんなで楽しくお見送りできるよう、ご協力お願いいたします。

(3)【ファミリー部会】ホストファミリー募集報告

福松：（議案読み上げ）

応募総数は募集枠に対し1.5倍あったが、やはりシャペロンを受け入れてくれる家庭は少なかった。しかし、ファミリー部会ははじめ、実行委員会メンバー皆さんの協力により全ホストファミリー決定ができた。ご協力ありがとうございました。今後もシャペロンの家庭は課題になってくると思うので対策の上、募集を行いたい。

(4)【ボランティアプロモーション部会】

・新規ボランティア登録説明会について

加治屋：（登録者数資料読み上げ）

第12回の登録会が6/2(日)で、招聘前最後となる。各部会の部会長、副部会長からのPRも分かりやすく行ってもらい人数が集まってきている。気を抜かずに最後まで頑張りたいと思う。よろしく申し上げます。

・5/19(日)第2回ボランティア交流会 実施報告

吉川：各部会からご参加いただき、本当にありがとうございました。今回はAPCCを知る内容だったが、皆さんの協力のおかげで楽しく充実した会になったと思う。

・8/3(土) ALL in ALL 参加者募集告知

吉川：参加申込が本日からとなっており、今回は1次締切、2次締切を設けている。ぜひ各部会でお声掛けしていただき、様々な部会でお疲れ様会ができたと思う。

(5)【医療対策室】

・バス添乗時の吐瀉物処理マニュアルについて

木村：（資料読み上げ）

今年度より、バス添乗をしている方に、嘔吐物処理をお願いしたいため、そういった緊急対応も考慮した上での人選をお願いしたい。また、このマニュアルは突発的な嘔吐が起こった場合の対応のため、体調が悪そうなことは前方に座らせ、バスに設置してあるビニール袋を使用するなどの対策を行っていただきたい。

・BSC医療ボランティアについて

木村：コロナ前までは看護学生という枠があった。一時期募集を止めていたが、今年度に関しては積極的に入れていきたいため、宿泊も含めて期間中は3~4人程度、活動をする予定になっている。

実際に医療行為ができるわけではないが、検温や循環、熱中症対策などを一緒にしていこうと思っている。

活動中は、看護学生であるということをはっきりと分かっておくので、あらかじめ、看護学生も活動しているということをご承知おきください。

9. 次回開催日について

日時：2024年 6月 20日（木）

場所：あいれふ 8F 視聴覚室A・B

議案提出締切：

（執行部）5/31金、（実行委員会）6/18火

10. 事務局より

11. 総括

森戸：本日は皆さんお忙しい中、実行委員会への参加ありがとうございました。また福岡JCの現役メンバーにも来ていただき、ありがとうございました。浅利部会長、田中部会長は議案上程お疲れ様でした。いよいよという感じで、オリエンテーション部会は明日から宿泊研修があり、8月のALL in ALLまで一気に駆け抜けていくことになると思う。私がいつも話す内容になるが、皆さん各役割を持っていて、これから更に忙しくなると思う。そこで責任感を持って職務を全うするとなると、一人で抱え込んでしまうことが多発すると思う。必ずきつい時は誰かに頼って、皆で解決していく意識付けてほしい。特に大きい部会だとリーダーさんや若いボランティアさんが自分だけで抱え込む傾向がある。ぜひ部会長、副部会長の皆さんは、自身含め周りのボランティアさんを見てほしい。そしてこの事業が終わった時に、全員で楽しかったねと言えるようになるといいなと思う。お疲れ様でした。

12. 閉会